



シートベルトは大事だね

“交通ルール しっかり守ってね” くにみ幼稚園で交通安全教室

国見町交通安全母の会（村上キミ子会長）による交通安全教室が10月9日、くにみ幼稚園で行われました。

教室では、母の会のみなさんが紙芝居や寸劇を披露し、園児に交通ルールを守ることの大切さを伝えました。村上会長が「車に乗ったら必ずシートベルトをしめてもらいましょう」と呼びかけると、園児は「はい！」と元気な声で応えていました。



美化作業ありがとうございました

熟練の技で町をきれいに シルバー人材センターが奉仕作業

国見町シルバー人材センター（佐藤利光会長）は10月14日、観月台文化センターとJR藤田駅前周辺で清掃奉仕作業を行いました。

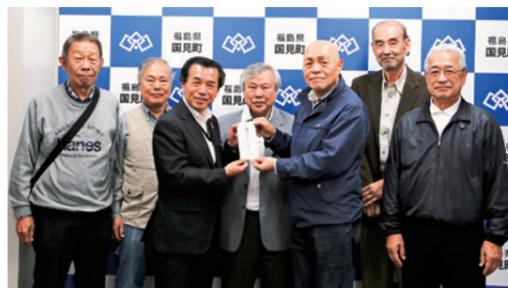
奉仕作業には、同センター会員30人が参加し、道路や植え込みの草むしりやごみ拾いを行いました。この取り組みは、毎年10月15日のシルバーの日に合わせて行われています。



くにみ米は幅広い世代に好評でした

国見の秋の味覚 召し上がれ 「くにみ米」を道の駅でPR

「くにみ米」の試食販売会が10月20日、道の駅国見あつかりの郷で行われました。「くにみ米」は、くにみづくり研究会（津田哲夫会長）が丹精込めて育てた国見産のブランド米。この日は、炊きたての「コシヒカリ」と「天のつづ」の新米が振る舞われ、試食した来場者からは「噛めば噛むほど甘くておいしい」と好評でした。



太田町長に目録を手渡す新芦屋自治会のみなさん

震災で生まれた交流続く 吹田市新芦屋自治会寄付

大阪府吹田市新芦屋自治会（村田隆会長）は10月21日、国見町役場を訪れ、夏に国見産モモを販売した売り上げの一部の2万円を寄付しました。吹田市と同市の各自治会などとの交流は、東日本大震災時に吹田市職員を震災応援職員として国見町が受け入れたことから始まりました。寄付は平成23年11月からで、今回で11回目になります。



太田町長に目録を手渡す玉手美和理事

台風被害に役立てて 国見太陽光発電所企業組合寄付

国見太陽光発電所企業組合（玉手真司代表理事）は10月25日、国見町役場を訪れ、3万円を寄付しました。

今回の寄付は同組合が企画した「第1回大枝チャリティーフリーマーケット」の売り上げを町に寄付する予定でしたが、台風で来年へ延期となったため台風被害の復旧に役立ててほしいと寄付しました。



上手に稲刈りできたよ!!

秋晴れの下 国見小児童が稲刈り体験

国見小学校5年生は9月24日、春に田植えた「学校田」で、「天のつづ」の稲刈りをしました。伊達農業普及所、小坂アグリ株式会社、JAふくしま未来のみなさんに教わりながら、鎌を使っての稲刈りに始めはとまどった様子の子どもたちでしたが、すぐにコツを覚え、作業をしていました。収穫した米は家庭科の授業でおいしくいただきます。



子どもから大人までみんなで盛り上げた運動会

地域の“絆” 深める 小坂地区で大運動会

小坂地区スポーツ振興会（赤坂齋会長）主催の小坂地区大運動会が9月29日、こさかふるさと館グラウンドで行われました。運動会には、子どもからお年寄りまでの約250人が参加し、町内対抗の団体競技や個人競技に汗を流しました。

町内対抗の綱引き競技では自分のチームを応援する大きな声援が会場に響きわたりました。



完成したVR作品を観賞

国見町×KDDI株式会社 VRで中学生が国見町の魅力発信

国見プロジェクト学習の一環として町の魅力を伝える仮想現実（VR）制作が10月5日と6日、県北中の生徒らが参加して行われました。町と連携協定を締結しているKDDI株式会社の協力のもと、初日は機材の操作方法を学び、町の観光スポットを撮影。2日目は自分たちで撮影した写真をもとに町の魅力を発信するVR作品を作成し、発表会を行いました。



国見自慢の味を求めて多くの人で賑わいました

国見の秋の味覚をPR 今年も「みの池田ふるさと祭」へ参加

10月5日と6日、国見町と友好交流協定を締結している岐阜県池田町で開かれた「第42回みの池田ふるさと祭」に佐藤弘利副町長、生産者、公募による事業協力者、ミスピーチ、国見ジュニア応援団員が参加し、町特産のモモやリンゴ、ブドウなど旬の味覚をPR。試食をした人たちからは「どれも甘くておいしい」と好評でした。



大学生によるよさこいが披露されました

スポーツの秋 満喫 スポーツフェスティバル

国見町体育協会（佐藤利光会長）主催によるスポーツフェスティバルが10月6日、柏葉体育館で行われ、同協会会員など約40名が参加しました。

ラダーゲッターとディスクゲッターなどのニュースポーツ体験のほか、福島学院大学YOSAKOIクラブ「月下流舞」が華やかなよさこいを披露しました。